

簡易株式交換による組織再編と 資本業務提携に関するご説明資料

2019年7月24日
株式会社アプリックス

目次

- 01 エグゼクティブサマリー
- 02 スマートモバイルコミュニケーションズについて
- 03 株式交換の背景（アプリックスの事業戦略）
- 04 株式交換について
- 05 光通信との資本業務提携
- 06 参考資料

1

スマモバブランドを中心にMVNO事業を展開する株式会社スマートモバイルコミュニケーションズ（スマモバ）を簡易株式交換により完全子会社化

- 2019年8月15日を効力発生日として、スマモバ社を100%子会社化。
- IoTと親和性の高い通信事業サービスの展開や、MVNO + aのサービスを提供することにより、事業シナジーの創出を図る

2

スマモバの親会社である株式会社光通信と資本業務提携を締結

- 本株式交換に伴い、光通信がアプリックスの株式を約16%保有する筆頭株主へ
- アプリックスグループの製品・サービスの販売促進や、光通信グループが手掛けるIoT化の提案支援等の分野で連携を図る

目次

- 01 エグゼクティブサマリー
- 02 スマートモバイルコミュニケーションズについて
- 03 株式交換の背景（アプリックスの事業戦略）
- 04 株式交換について
- 05 光通信との資本業務提携
- 06 参考資料

《会社概要》

社名	スマートモバイルコミュニケーションズ株式会社
設立	2007年2月13日
本社	東京都文区関口 1-24 -8東宝江戸ビル8F
代表取締役社長	鳥越 洋輔
資本金	10,000千円（2019年3月末現在）
社員数	14名（2019年3月末現在）
事業内容	電気通信事業法に定める電気通信事業 情報処理サービス業ならびに情報提供サービス業 MVNO事業
株主構成	株式会社光通信（99.9%） 光通信グループ会社（0.01%）
公式ホームページ	https://smamoba.jp/

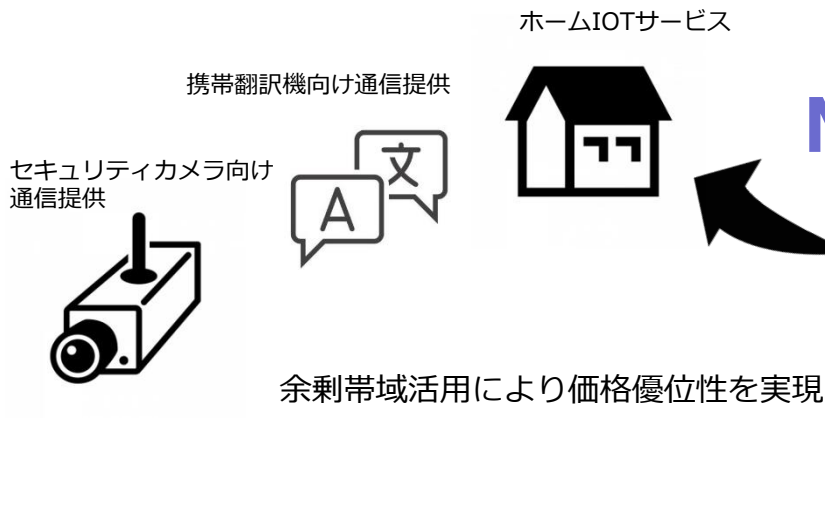


《沿革》

2015年にMVNOサービス（スマモバ）開始後、リアルショップを販売拠点とした戦略で成長
2018年度からはアライアンス事業に力を入れ、パワードバイモデル・OEMモデルを積極的に展開中



IoT関連



でんき小売り取次



コンテンツサービス



通信デバイス



MVNO事業を中心に関連事業の展開を実施

《MVNOサービスについて》

《音声》



<p>メールやLINEがほとんど!</p> <p>1GB</p> <p>月額基本料金 1,580円~</p> <p>10分通話定額“スマート通話定額プレミアム”をお申し込みの場合 2,430円~</p> <p>メールやLINEの利用がメインの方やWi-Fiにつないでいることが多い方に。</p> <p>mail web movie LINE map</p>	<p>ネットやSNSを毎日したい!</p> <p>5GB</p> <p>月額基本料金 2,480円~</p> <p>10分通話定額“スマート通話定額プレミアム”をお申し込みの場合 3,330円~</p> <p>通話もネットもバランス良く使う方にオススメ。</p> <p>mail web movie LINE map</p>	<p>動画を長時間楽しみたい!</p> <p>LTE使い放題</p> <p>月額基本料金 3,480円~</p> <p>10分通話定額“スマート通話定額プレミアム”をお申し込みの場合 4,330円~</p> <p>通信量制限でお悩みの方に! 24時間365日LTEが使い放題!!</p> <p>通信量制限ありの場合 規定通信量 低速化状態</p> <p>スマートフォン LTE使い放題</p>
---	---	---

《付帯オプション》

- スマート通話定額プレミアム 10分以内の通話がかけ放題で月額850円
- スマモバおたすけサポート お客様にかわって遠隔で操作 月額400円
- スマートAOSBOX 容量無制限クラウドバックアップサービス 月額500円

《データ専用》



広域バンドが使用可能	
対応電波	Band 1 (2.1GHz) Band 3 (1.8GHz) Band 8 (900MHz) Band 11 (1.5GHz)
サイズ(W×H×D)	約74.0×74.0×17.7mm
バッテリー	3,060mAh
重さ	128g
連続通信	最大20時間
通信ネットワーク	1(2.1GHz)/3(1.7GHz)/8(900MHz)/11(1.5GHz)
接続可能台数	15台
連続待受(無線OFF時)	約600時間 ^{*1}

モバイルWi-Fiルーター
富士ソフト +F FS030W

月額総支払金額(36ヵ月まで) **4,980円/月** 本体代金込み

月額総支払金額(37ヵ月以降) **4,480円/月**

月額基本料金	4,480円/月
月々割(36ヶ月まで)	-500円/月
本体分割支払金(36ヶ月まで)	1,000円/月
月額総支払金額(36ヶ月まで)	4,980円/月
月額総支払金額(37ヶ月以降)	4,480円/月

※契約期間満了で自動更新はございません。

《1日3GBで楽しめる利用例》

WEB	標準画質 YouTube	音楽ダウンロード
約 10,400 回/日	約 12 時間/日	約 750 曲/日
1回あたり約300KB	1分あたり約3.5MB	1曲あたり約4MB

※仮に3GBを使い切ってしまった場合でも、毎日深夜0時リセットですので、速度制限期間も短くて済みます

「アフターフォロー、利用促進の取り組み」

■電話オペレータによるお問い合わせ受付

97.5%

※2019年6月時点実績

■お問い合わせ種別



電話受付

365日対応



チャット受付

24時間365日対応

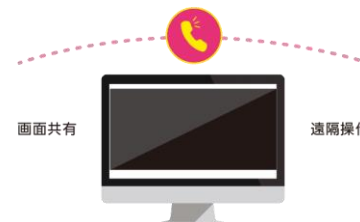
■オペレータによる遠隔サポート ※初月無料適用



お電話1本でお客様に代わって
遠隔で操作いたします



お客様



画面共有

遠隔操作



オペレーター

接続方法やAPN設定方法、アドレス帳の移行方法

遠隔操作でサポートができるため、高い問題解決率を実現

万全のアフターフォロー体制を構築しておりますので、初めてスマホを使われる方でも安心してご契約いただけます。

「ご当地モバイル戦略」



新潟 **にいかた**
モバイル
Powered by Smart Mobile Phone

宮城 **みやぎ**
モバイル
Powered by Smart Mobile Phone



石川 **百万石**
モバイル
Powered by Smart Mobile Phone

茨城 **IBmobile**
～いばらきモバイル～
Powered by Smart Mobile Phone

佐賀  **みやきモバイル**
Powered by SMART MOBILE PHONE
(仮称)

愛媛 **坊っちゃん**
モバイル
Powered by Smart Mobile Phone

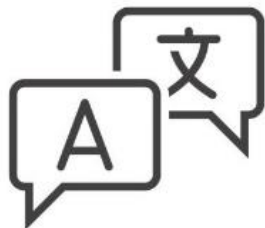
山梨 **Yamanashi mobile**
ヤマナシモバイル



大阪  **泉佐野モバイル**

注：佐賀県みやき町とは、2018年12月「ICTを活用した地域活性化包括連携協定」を締結し、モバイルサービスの立ち上げを推進しています。

■自動翻訳機



今話題の自動翻訳機の通信システムにSIMを提供

■ホームIoTサービス



ホームIoTシステムの取次販売を行い、ハブとなる通信システムにSIMをセットで販売

■セキュリティカメラ



24時間365時間常時アップロードが必要な環境化の通信システムにSIMを提供

■ドライブレコーダー



ドライブレコーダーへ通信システムを搭載する事により、遠隔での録画映像の取得を実現

目次

- 01 エグゼクティブサマリー
- 02 スマートモバイルコミュニケーションズについて
- 03 **株式交換の背景（アプリックスの事業戦略）**
- 04 株式交換について
- 05 光通信との資本業務提携
- 06 参考資料

アプリックスでは、IoTソリューション事業を発展させるため、**DX**（デジタル・トランスフォーメーション）事業と**PF**（プラットフォーム）事業というふたつの方向性で業態及び業容の拡大を目指しています。

《アプリックスの強み》

①IoT開発に必要な組込み技術力

アプリックスは、カーナビ、携帯、家電などの分野における30年以上の取り組みを通じて蓄積した、ハードウェアの知識を活かしたアプリケーション、プラットフォーム開発の実績・ノウハウを保持

<ハードウェア>



設計から部材調達、生産、
認証対応等

<ファームウェア>



ハードを制御するソフト
当社独自開発

<アプリケーション>



UI・UX設計から
アプリフレームワークまで
設計

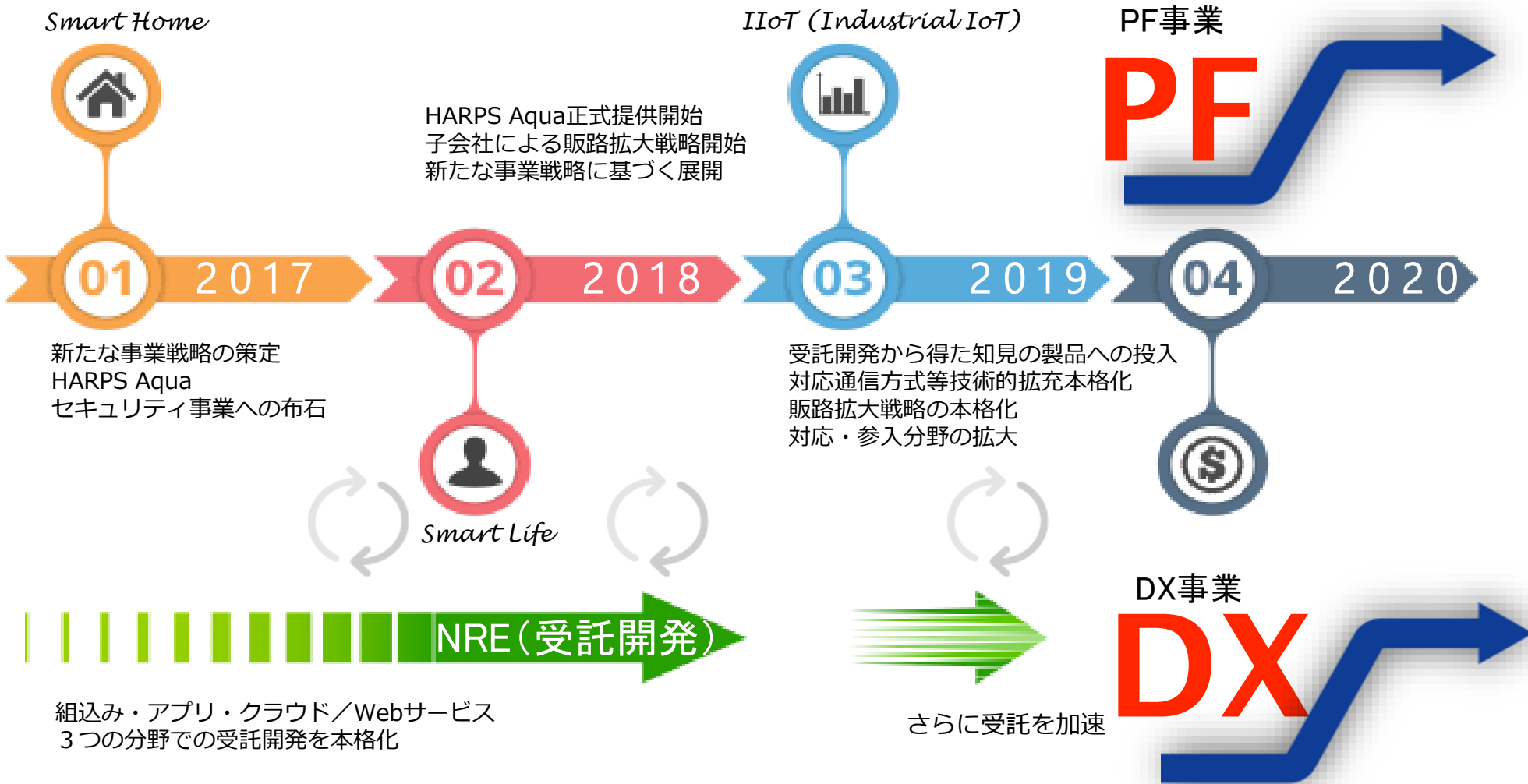
<クラウド>



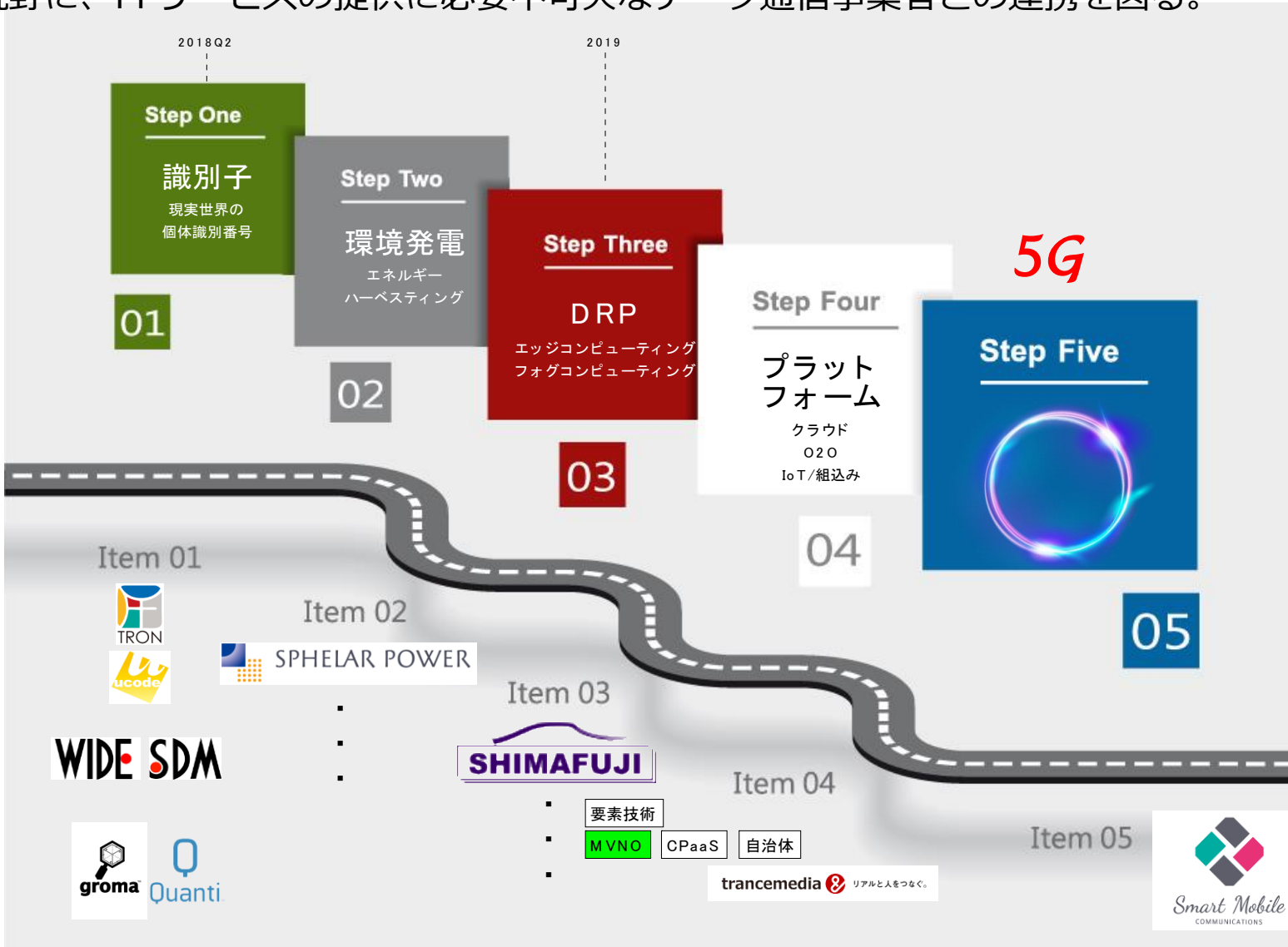
大規模IoTサービスの運営

②大規模IoTシステム開発

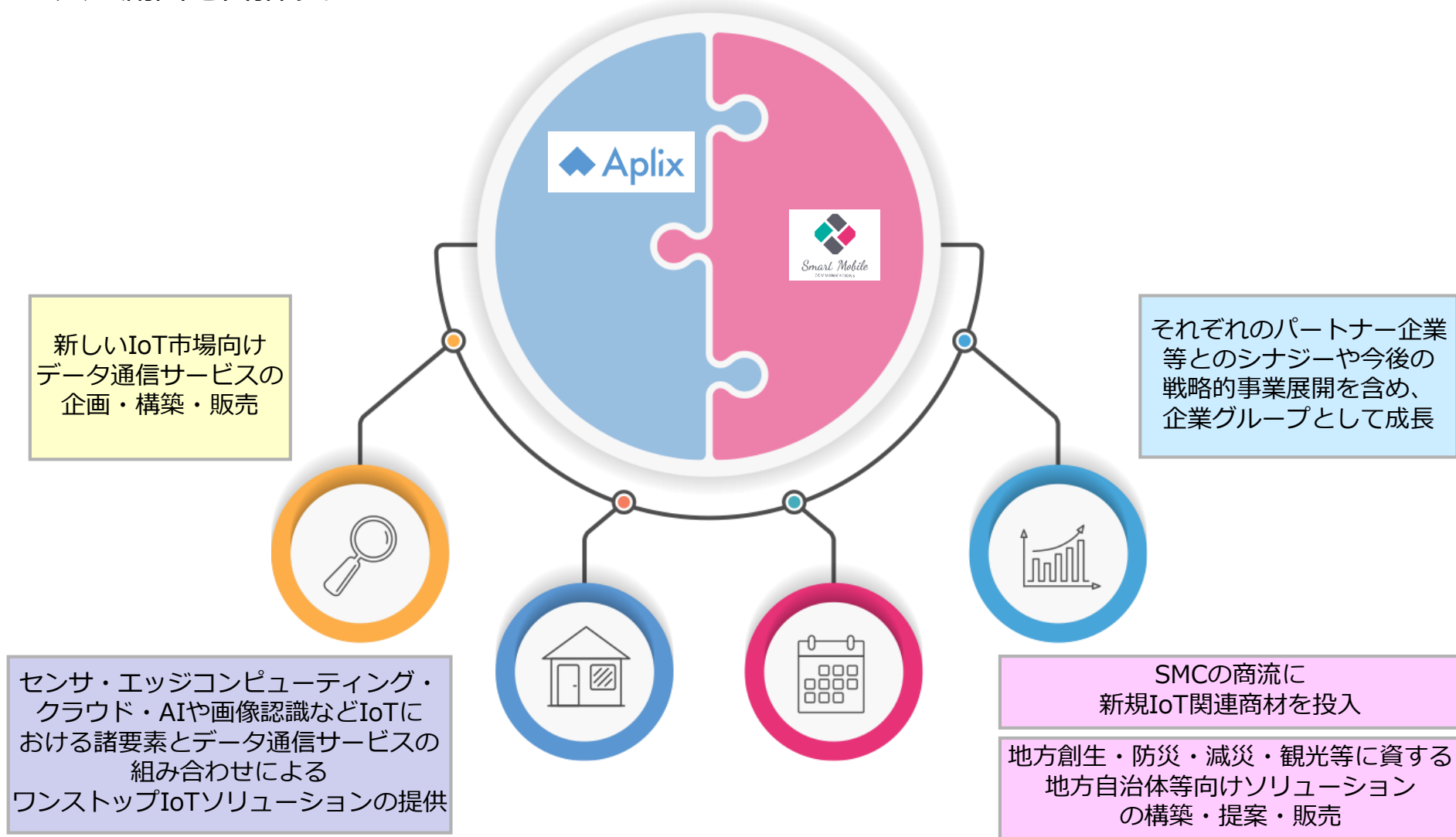
③海外でのIoTソリューション実績



アプリックスが保有していない要素技術を有する企業や団体等と連携。次世代移動通信規格「5G」の到来を視野に、PFサービスの提供に必要なデータ通信事業者との連携を図る。



アプリケーションとスマホの強みを相互補完的に組み合わせることで、市場訴求力の高い商品やサービスの創出を目指す。



事業展開の方向性（構想）

アプリックスが提供する「Bluetooth Low Energy (BLE) モジュール等+センサー」にスマホのデータ通信サービスを組み合わせることで、用途やニーズに応じたきめの細かいサービスの企画・提案が可能に。

①  センサ+BLEモジュール等

いままで

②  SIMカード+通信サービス


IoTデバイスとSIMカード及び通信サービスを組み合わせてセットで提供可能に。IoTの現場のニーズに即した独自の通信サービス等も企画可能。ストック型収益モデルの追加。

+ MVNO

③  O2Oプラットフォーム

情報ハブとしてスマホを押さえ、②に加えて広告収益モデルやMAに向かう。法人や自治体等向けに端末自体も提供可能。

+ MVNO + O2O

④  Cloudプラットフォーム・データセンタ

クラウド基盤とフルマネージドサービスを提供し、本格的にストック型収益モデルへ。安心信頼の国内データセンタ事業者と提携。ワンストップソリューションの提供へ。

+ MVNO + O2O
+ Managed Cloud

目次

- 01 エグゼクティブサマリー
- 02 スマートモバイルコミュニケーションズについて
- 03 株式交換の背景（アプリックスの事業戦略）
- 04 **株式交換について**
- 05 光通信との資本業務提携
- 06 参考資料

MVNO事業の将来性

- 本年5月の電気通信事業法の改正および今秋の施行等、MVNO事業者にとって新たな顧客獲得のチャンスでありMVNO事業の成長を期待。

MVNO+a

- MVNO事業にIoT製品・サービス等を組み合わせることで、通信サービスに付加価値をつける。
(地方創生・防災・減災・観光等に資する地方自治体等向けソリューションの提案等)

IoT機器向け通信サービス

- IoT市場向けに、通信速度や頻度、通信料等、用途に応じたきめ細かい通信サービスを提供

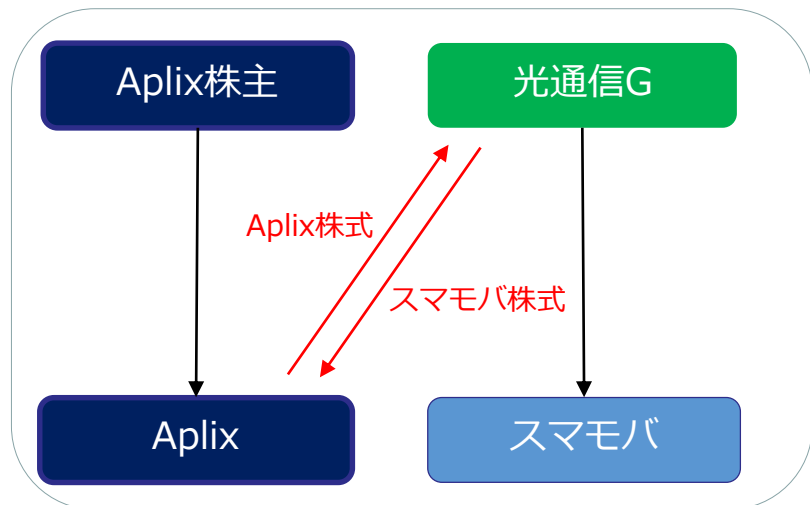
PF事業の立ち上げ加速

- MVNO事業の商流及び仕組みを活用
(通信回線や携帯電話端末等の仕入から、複数の販路を通じた販売、代金回収等)

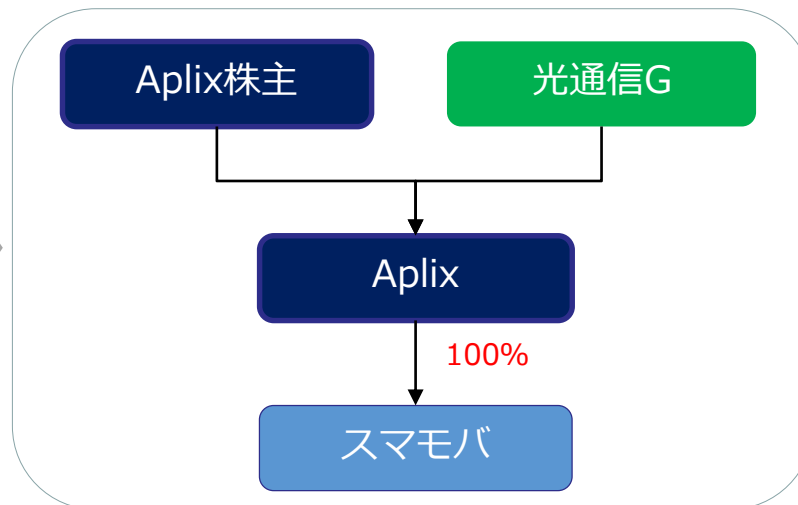
株式交換スキーム

簡易株式交換により、光通信グループが保有するスマモバの全株式をアプリックスが保有。
効力発生日は2019年8月15日（予定）

■ 株式交換前



■ 株式交換後（8月15日～）



■ 株式割当内容

	アプリックス	スマモバ
株式交換比率（※）	1	143

- ・スマモバの普通株式1株に対して、アプリックスの普通株式143株を割当て交付
 - ・本株式交換により交付するアプリックスの普通株式は3,274,700株
- ※光通信に対しては3,274,557株交付（持分比率：約16%）

スマモバ業績見通し（アプリックス連結取込ベース）



（単位：百万円）

	2019年12月期 (2019年10月～12月)	2020年12月期	2021年12月期
売上高	313	1,660	2,226
・イニシャル売上(携帯端末売上等)	143	606	662
・ストック売上(月額利用料金等)	170	1,054	1,564
売上原価	134	793	1,168
販売費及び一般管理費	163	769	943
営業利益	15	98	114
[参考指標]新規獲得件数	約3,500件	約14,800件	約16,200件

※：2019年9月30日をみなし取得日とし、2019年10月以降の業績をアプリックス連結業績に取り込む予定。なお、上記はスマモバ単体の業績見通しであり、のれん償却費用、経営統合等のPMIに係る費用、その他本株式交換に伴い発生する費用等は折り込んでいません。

※：株式交換後、スマモバの決算期を12月に変更予定。

※：スマモバの取引内容や取引形態を確認した結果、アプリックスでは2018年3月以前に獲得した顧客に紐づく通信料等の月額使用料は代理人取引に属すると判断し、純額表示を適用して当社連結グループに取り込む予定。

※「参考指標 新規獲得件数」については、2019年4月度から6月度の実績値においては前年同時期と比較して約60%減少しているものの、従来の直販及びブース販売等に加えて、アライアンス、OEMやその他販売チャネル拡充等の取り組みを行うことで、2019年3月期においては約8,000件であった獲得件数を、2019年4月から12月までの9ヶ月間においては約8,000件、2020年12月期においては約14,800件、2021年12月期においては16,200件と増加する前提。当該前提が想定どおり進捗しなかった場合は、イニシャル売上及びストック売上が減少。また、アライアンス、OEMやその他販売チャネル拡充等の取り組みが想定どおり進捗しなかった場合、営業戦略等の見直しにより代理店手数料等の費用が想定以上に発生し、営業利益等に影響を及ぼす可能性があります。なお上記の数値については、本日現在において当社が取得した情報を前提として算出した数値となるため、今後の経済動向や市場環境の変化等の要因により、上記数値から変動する可能性があります。

目次

- 01 エグゼクティブサマリー
- 02 スマートモバイルコミュニケーションズについて
- 03 株式交換の背景（アプリックスの事業戦略）
- 04 株式交換について
- 05 **光通信との資本業務提携**
- 06 参考資料

スマモバの簡易株式交換に伴い、光通信がアプリックスの株式を約16%保有する筆頭株主へ。アプリックスグループの製品やサービスを光通信グループが保有する高い営業力と強力な販売体制を用いて販売するなど、本提携を通じてこれまで以上に連携を強化していきます。



業務提携の内容

- ① アプリックスがスマモバ取得により開発を進める、第3世代（3G）及び第4世代（4G）、将来的には第5世代（5G）移動通信システムを用いた新たな製品・サービスの販売促進
- ② アプリックスのIoTソリューションの販売促進
- ③ 光通信グループが取り扱う製品・サービスのIoT化を推進
- ④ 光通信グループの法人顧客が有する製品・サービスのIoT化を提案、支援

目次

- 01 エグゼクティブサマリー
- 02 スマートモバイルコミュニケーションズについて
- 03 株式交換の背景（アプリックスの事業戦略）
- 04 株式交換について
- 05 光通信との資本業務提携
- 06 **参考資料**

日本の携帯電話契約数とトラフィック推移

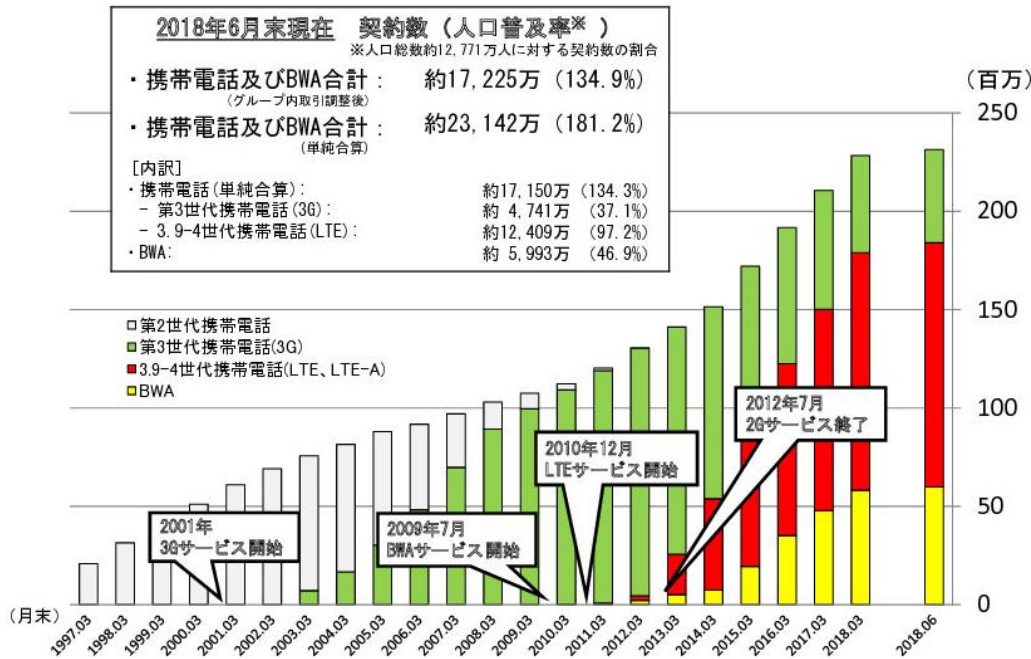


図1: 携帯電話及びBWAの契約数の推移

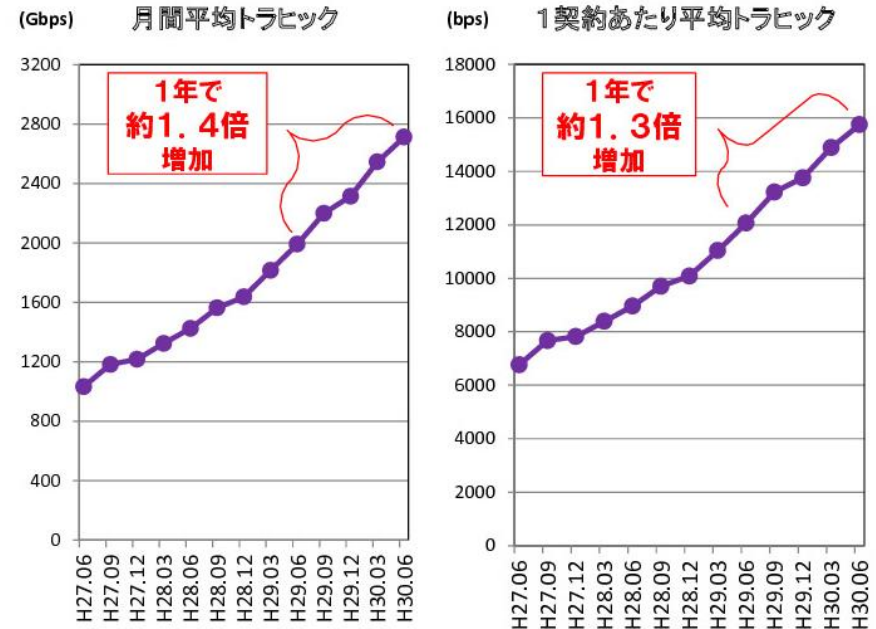


図2: 移動通信トラフィックの推移（過去3年間）



2018年6月末の契約数は1億7000万超（半年で400万件増）
2017年の出荷台数は3400万台（前年比4.6%増）うちスマホは3343万台
トラフィック（通信量）は毎年約1.4倍増（Wi-Fiを使うオフロードは含まず）

携帯電話市場の契約数の状況

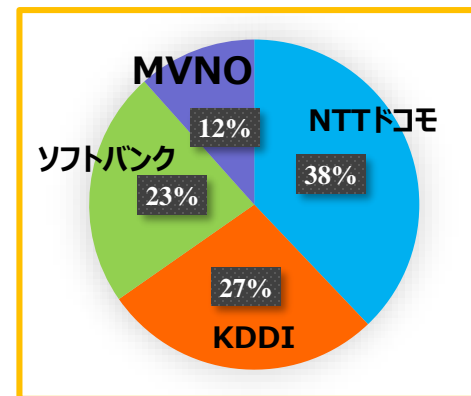
- 携帯電話の総契約数 : **1億8,045万**
 (2018年度末時点) (2016.3比+11.6%、2018.3比+4.0%)
 - MNO契約数 : **1億3,539万** (2016.3比▲0.2%、2018.3比+0.2%)
 - MVNO契約数 : **2094万** (2016.3比+65.0%、2018.3比+13.8%)

(注：この他に通信モジュール契約2412万がある)

⇒携帯電話の契約数は、既に頭打ち状態にあるものと考えられる。
 ⇒その中でMVNOの契約数は、依然として前年比2桁増。

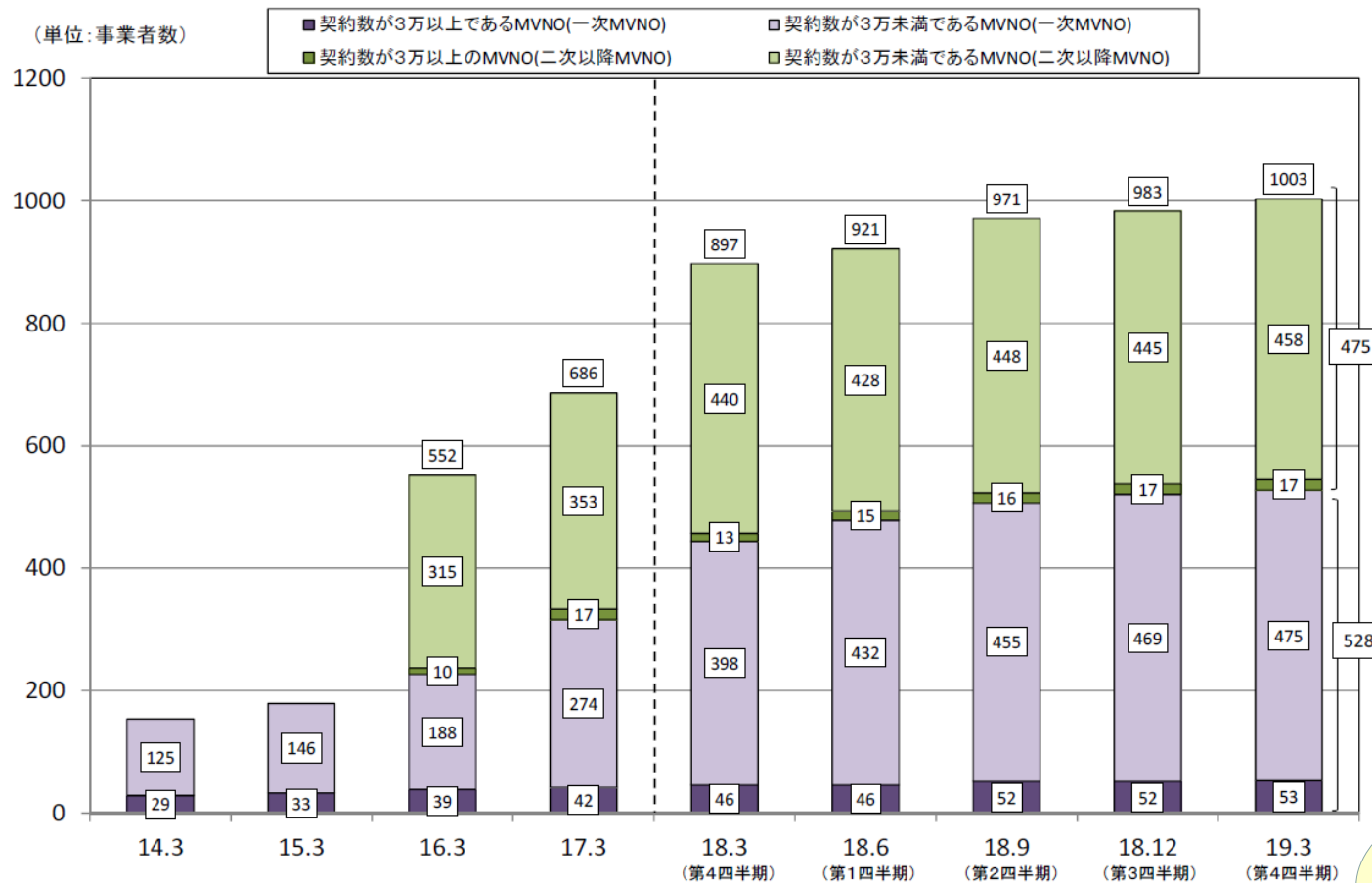
◆ 事業者別シェア (2018年度末時点)

NTTドコモ : 37.9%、
 KDDI : 27.4%、
 ソフトバンク : 23.1%、
 MVNO : 11.6%



MVNOサービスの事業者数の推移

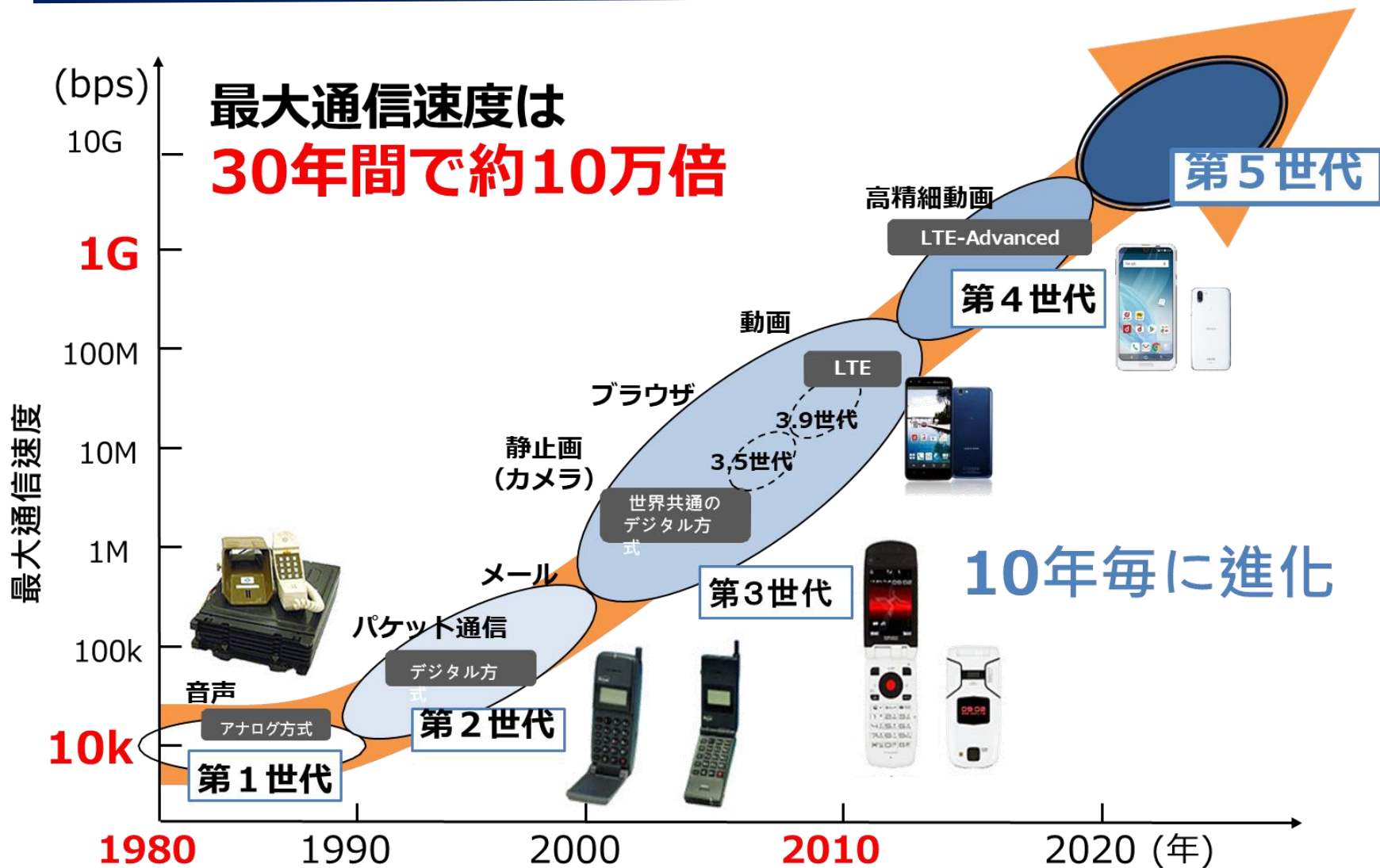
MVNOサービスの事業者数の推移



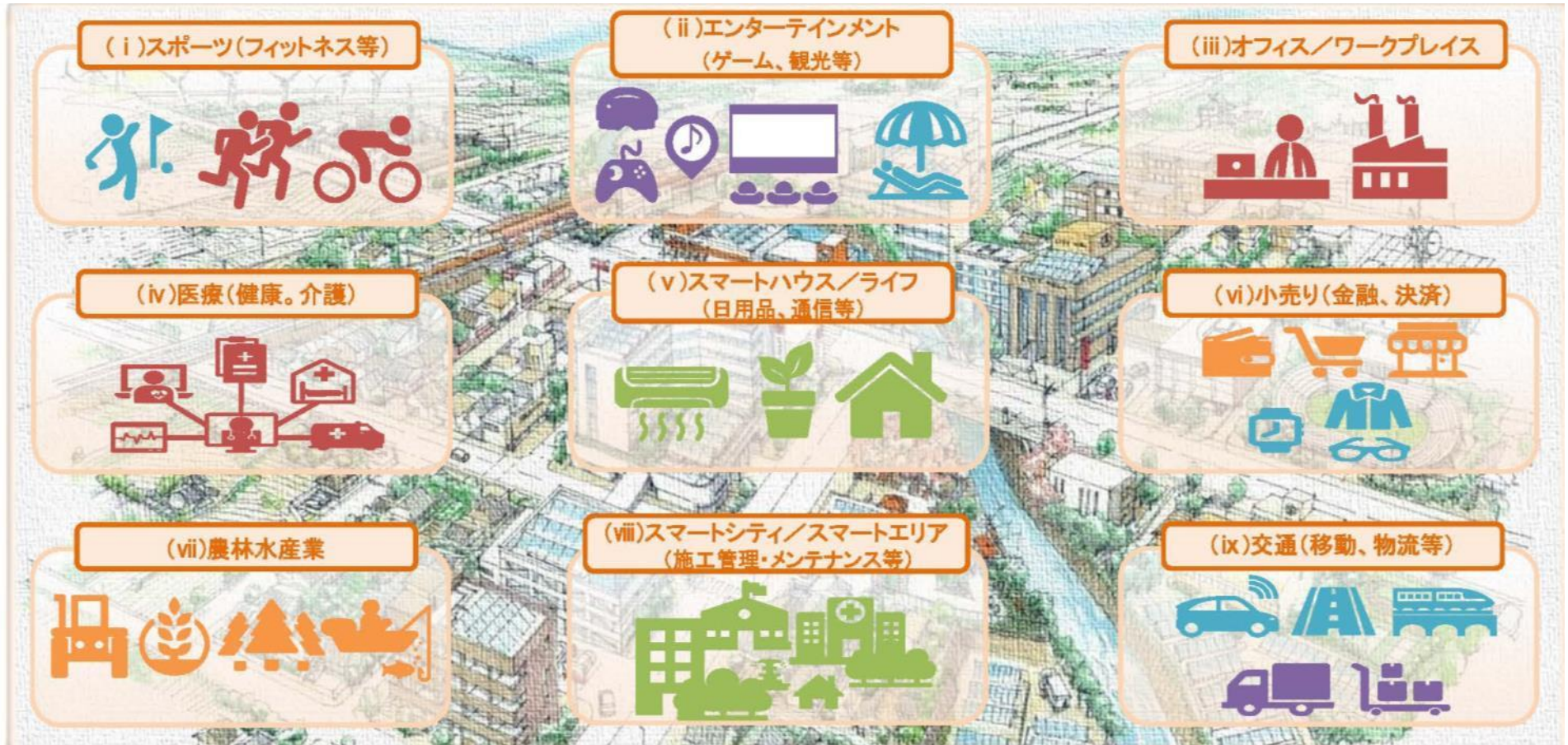
スマモバは
上位7%内に
位置する

2019年3月末の事業者数は1003件（1年で103件増）
契約者数が3万件以上のMVNO事業者数は70社と全体の7%

5Gの用途産業の拡がり



5Gの用途産業の拡がり



スマホの延長線から用途産業 (Vertical) が拡がるIoT時代へ

免責事項

本資料に記載されている将来の業績に関する予測等の情報は、本資料作成時点において入手可能な情報を基にした当社の判断又は仮定に基づいて作成されたものであり、その正確性や実現を保証するものではありません。

実際の当社グループの経営成績、財政状況その他の結果は、これらの判断及び仮定に含まれる様々な不確定要素、リスク要因の変更や経済環境の変動などにより、本資料記載の内容と大きく異なる可能性がありますことをご了承ください。

株式会社アプリックス

<https://www.aplix.co.jp/>